

3.11

『
1 連
2 続
年 ラジ
前 オ
の オド
わ ラ
た マ
し ヘ』

全 4 回

キヤプチャード

【3月6日（月）放送】

タイトル

3.11 連続ラジオドラマ

『12年前のわたしへ』

第一回

大人の凧「12年前のわたしへ」。私は今でも、さざえ堂が好きだよ。自分がどこにいるのか分からなくなる感覚、不思議だよね。生きるってことも、そうなのかも」

M・FI

M・CO

SE.. 駅前ターミナルの雰囲気

SE.. 軽トラのクラクション

祖母「（OFF）おーい、凧。こだよー」

SE.. 軽トラのドアの開閉音。

風 「（息が乱れて）」
会津若松の駅まで、お迎えありがとねーばあちやん。いつも

SE.. 軽トラの走行音

SE.. 薄いラジオ音

祖母「（上級生の卒業式、サボつちやつた）」
祖母「（今日は休みか？金曜日だぞー）」

DJ 「（カラーラジオの音質）」
3月1日で

たら、花マルだー
。今日の福島は概ね晴れ

大人の風「（F.O.）」
いとき、自宅の中学生の頃の大熊から会津のばあちやん
の家に、よく遊びに行つていいたー

SE.. うすく流れるラジオの音楽 F.I

風	「ばあちゃん、さざえ堂でよく昔話していく	風	「から」	祖母	「畑にいつからな。昼過ぎに迎えに来つ	大人の風	「小さい時から飯盛山にある、さざ	祖母	「（独り言のよう）未なんて、誰かが
SE..	遠ざかつていく軽トラのエンジン音	SE..	さざえ堂の中で反響する声）ううん	SE..	冬のさざえ堂周辺の雰囲気	SE..	遠くでカラスが鳴く声	堂に登るの好きだった」	決めてくれないかな。寄つてくれか」
SE..	さざえ堂に響く風の足音			※	雪がずり落ちる音			に登るの好きだった」	（独り言のよう）未来なんて、誰かが

れ
た
な
」

S E .. 遠くから次第に迫つてくる地響き

祖母 「（耳元で昔話を語る感じ）遠くか

凧 「えつ何？」

S E .. 真下でうなる地響き

S E .. 木材がきしむ音

S E .. 雪や土砂が崩れる音

祖母 「（耳元で昔話を語る感じ）立つて

凧 「登つたと思つたら、登つていて、降つた
と思つたらと思つたら、登つていて、降つた
ちさいつて……」

S E .. さざえ堂の壁に体を打ちつける音

風 和 風 和 風 和 風
 「て 熊 子 「来 子 来 「ど る に 子 「本
 避 た に 「大 た 「ま る よ 賴 ま 「本
 難 の 戻 そ 熊 の ん う 。 ま 。 当
 指 示 ? つ う 町 ? あ で し あ て に
 「た か で 「、 一 大 私 ご ん い
 ん だ 、 避 丈 の め だ る よ
 解 除 。 難 夫 名 ん 。 風 ；
 若 松 指 示 だ 前 、 私 ち 突
 分 校 に が か ら ； や 然
 あ 解 さ で 、 ん で 悪
 つ 除 し も 、 子 」 福 い
 「た に に 笑 」 祖 島 け
 分 校 な っ ど が 母 を ど 、
 に て つ っ 迎 内 、
 通 つ 、 か え に 親 す
 大 ら に 友

※

小 春 日 和 の 雰 囲 気

雪 が 溶 け て 流 れ る 音

風 「 ？ 」 い て て 。 地 震 が あ つ て ； ど う し た ん だ つ

和風和子
や子つ後年一見子
つ一ての前二みて
た風、福かはみ本
のちど島らい。当
一やうを來。スに
んい案たマ震
、う内中3フ災
本こし学月オ後
当とて生1の操
にで。の1作
2す頼私日と
0かむがさ、
1?ねいざ分知
1一。るえから
年風か堂るな
からよらに?
らり、、「ん
来震1だ
ち:災2。
。

キヤブチヤー2【3月7日（火）放送】

タ
イ
ト
ル

3.11 遷続ラジオドネマ

『年以前のわたしへ』 第二回

「私は大熊町の中学校2年生、風。会津にあ
るさざえ堂で地震に遭い、意識を失つて
しまつたんだ。和子さんといふ人に教え
てもらつたんだんだだけど、今は12年後の
0年なんだつて。信じられる？」

S E .. 市街の霧囲気
S E .. 風と和子の歩

和子「震災直後の福島市もさ、人通りが少な
くて、さびしいもんだつたよ」
「（独り言）町におしゃれな個人のお店が
なくて、さびしいもんだつたよ」
（和子へ）確かに未来かも

風
です
か?
「一
いく
を
作り
始め
たき
つか
かけ
つて
なん

立ち
上
げま
し
作り
た
い
な
と
思
つて
ア
トリ
エを

には
本
気で
や
りし
た
い
な
と
思
つて
ア
トリ
エを

何
も
の作
りし
た
い
な
と
思
つて
ア
トリ
エを

み
物を
して
い
ま
した
。会
津に
避
難し
てア
トリ
エを

庄
子
さん
「ニ
ツト
デザ
イナ
ーで
す。
毎日
、編

風
一大
熊で
何を
なされ
てい
たん
です。
ですか？
—

SE.. 店内の雰囲気 CO

和
子
「
（
風
の
視
線
に
気
づ
く
）
カ
バ
ン
の
こ
れ
？

難
して
きた
庄
子
さん
つて
人が
作
つて
ん
だ
—

和
子
「あ
つ
庄
子
さん
、お
久
し
ぶ
り
」
—

庄
子
「和
子ち
ゃん
、お
久
し
ぶ
り
」
—

和
子
「庄
子さ
ん、ち
ょ
つ
とお
茶
つ
こ
し
な
い
？」
—

風
「：
か
わ
い
い
」
—

庄
子
「（
O
F
E
）
また
よ
ろ
しく
お
願
い
し
ま
す
」
—

和
子
「庄
子さ
ん、ち
ょ
つ
とお
茶
つ
こ
し
な
い
？」
—

和	風	庄	風	自	庄		庄	和	リ	の
え	「	子	「	立	子	」	子	子	ジ	歴
た	一	」	の	の	「	お	大	さ	ナ	史
る	：本	へ	子	自	い	店	熊	ん	アル	が
け	ど	（	に	立	く	の	の	「	の	ある
ど	、	本	が	意	く	霧	空	あ	ク	会
に	當	（	に	味	ー	團	は	い	マ	津
。そ	に	茶	と	も	は	氣	つ	く	を	木
れ	震	茶	う	あ	ち	『	な	い	作	会
よ	災	を	通	る	や	』	が	く	ろ	津
り	災	飲	り	記	ん		つ	た	う	木
震	災	み	ご	念	と		な	ち	が	綿
な	が	干	ざ	の	立		が	ち	あ	ご
か	震	す	い	空	つ		つ	め	と	い
災	災	す	ま	に	つ		て	け	入	よ
か	か	（	す	見	、		い	れ	、	ね
後	つ	震	す	レ	普		る	れ	か	わ
に	た	震	す	ゼ	レ		。	て	わ	思
出	ら	災	て	ゼ	ト		そ	く	い	つ
会	つ	後	あ	ン	ス		う	れ	い	た
え	て	は	げ	ト	る		い	た	で	。
た	時	色	て	す	る		う	た	の	0
人	々	々	（	る	ね		思	会	す	0
た	考	あ	あ	）	。		い	津	ね	で
	つ	つ	つ				と	と	一	才

ちに、会えていなかつたと思うと……」

ＳＥ　..　お店の雰囲気

嵐「そう言つてだまつてしまつた和子さんに、
私は声をかけられなかつた」

キヤプチヤー3
【3月8日（水）放送】

3月8日(水)放送

キヤブチヤー

タ
イ
ト
ル

3.11 連続ラジオドラマ

年前のわたらしへ

S E ..

和子「こいつ、大學の後輩で真平。一緒にド
ライブしたいって言うからさ」

真平「風ちゃん、ちっす。よろしく」

DJ「（ラジオの音）祈念式の会場へ訪れる方
の列は、途切れることがありません」

真平「（そつけなく）そつか、今日はあの日
か：」

風「あの真平さん、さつき物産館で買った山

菜、少しもらつてくれませんか。量多くて。

車の床に落ちる山菜

真平「（感情のない口調）俺、料理しないから。
うん：ちよつと心配だし、ごめんな」

和子「それなら、いい知り合いがいるよ」

SE.. 観覧者の声 伝承館の職員の案内

※ 伝承館の雰囲気

横山和子「わかな、よろしくね」

横山さん「ようこそ。東日本大震災原子力災害伝承館へ。スタッフの横山和佳奈です。

SE.. 祈念館のエントランスの雰囲気 FO

横山さん「（語りの最後の方）最後に皆さんにお伝えしたいことがあります。まず1つ目、地震が来たら安全な場所へ身を隠す。2つ目、避難の情報が出たら、すぐに避難をする。これだけは覚えて帰つてくださいね。ありがとうございますございました」

SE.. 観客からの拍手

和子「真平、わかなの話聞いてどうだつた？」
真平「俺は自分の見たこと聞いたことを信じ
ることにしますよ：山菜もらおつかな」
凧「（笑う）」
和子「さて大人の凧はまだかなう。連絡した

者なのか、どうすれば復興したことになるのか、考えています

キヤプチャーブ【3月9日（木）放送】

タ
イ
ト
ル

卷之二

一
1
2
年
前
の
わ
た
し
へ
最
終
回

嵐「震災直後からタイムスリップしてきた私。」

大人の私と出会い、浜通りを案内してくれ

SE.. 浜辺の波の音

「あいくし、これが浜通りの空と海だよ。

大人の風今の方を見て、もつと上へ／ヨツツウキ

風「正直、戸惑つてます。」
大人の風「けど？」

風 SE.. 風、立ち止まる

一 カモメが鳴き声

あれ 海水浴客の声

よく遊んだ夏の海。 雰囲気

て 夏の海水浴場の雰囲気

クラクラする：（エコー）風さん、どこ

S E .. 浜辺を歩く風の足音
手

風 「じやあ私はこれから、どうしたいのつて考えちやつて：」
大人の風 「震災後つて、私どんなん生活をしていたん？」
「手紙書いたんだ。浜の方で読んで

風	風	風	風	風	風	風
「	「	「	「	「	「	「
私	ざ	さ	さ	さ	い	セ
は	ざ	ざ	ざ	ざ	いた	セ
今	え	ざ	ざ	え	た	..
で	た	ん	ざ	え	た	壁
も	っ	、	い	堂	た	に
、	う	、	出	の	た	打
さ	ん	、	し	人	：	ち
ざ	、	ち	て	「	：	ち
え	ん	や	ー	2	さ	..
堂	、	ん	」	0	ざ	小
が	、	と	。	1	え	鳥
好	、	持	（	1	堂	が
き	、	つ	）	年	だ	鳴
だ	、	て	自	3	。 戻	声
よ	。	る	分	月	れ	..
。	（	ー	か	何	が	雪
（	風	ー	か	月	溶	小
風	と	戻	た	何	け	春
の	）	つ	よ	日	て	日
声	）	た	。	で	流	和
C	）	よ	（	す	れ	の
F	）	う	思	か	る	霧
自	う	ん	い	）	気	囲
分	ん	、	出	2	味	気
が	、	、	し	0	に	
ど	、	、	て	1	（	
こ	、	、	ー	1	今	
に	、	、	風	1	日	
い	、	、	さ	1	は	
る	、	、	ん	日	何	
の	、	、	か	で	年	
か	、	、	ら	す	、	
分	、	、	ー	よ	大	

S E .. 便箋を開く音

祖母「（O.F.）おうい風、迎えさ来たぞ。ラ
ーメンでも食うべ」

M : E O

M : E I

からなくなる感覚、不思議だよねー

風私
さんも
福島
の
人
も
、
そ
う
誰
で
も
。
で
す
よ
ね
：